

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会（第5回）			
(2) 開催日時	平成29年11月22日（水）10:00～12:00			
(3) 開催場所	区役所 902 会議室			
(4) 出席した委員、事務局	委員（部会長：青山 明子）			
	白井 絵里子	山根 聖子	相原 美晃	鶴田 雅英
	栗田 総一郎	志村 陽子	齋藤 信子	林 達彦
	井岡 幸子	岡田 あい子	帯瀬 和明	伊藤 明春
	山田 紗梨	岡本 洋		
	区職員： 区事務局：関根 あずさ（障害福祉課） 木伏 正有・齋藤 愛理・森田 好美（障がい者総合サポートセンター）			
(5)内容・要旨	<p>1 部会長のあいさつ</p> <p>2 確認・連絡事項</p> <p>（1）司会：山根委員、記録：齋藤委員</p> <p>（2）出欠者の確認</p> <p>（3）配布資料の確認</p> <p>（4）事務局からの連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会について 共同事務局となっているが、後半戦は障がい者総合サポートセンターが中心となって開催する。 ・先週 施策推進会議があった。 説明会 12月12日（火）18時00分～19時30分 12月13日（水）10時00分～11時30分 パブリックコメント受付：12月12日（火）～1月10日（水） <p>3 前回の振り返り（議事録にて確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討で抽出された課題を解決するために“すぐできること”、“時間を要すること”にまとめた。 すぐに取り組めること。→グループホーム連絡会にて報告。 情報公開ができていない。情報がわかるような形で皆様に提示できるようにする。→具体的な動きとしては、施設概要のアンケートを依頼し、まとめる。 アンケート項目には、この部会の意見も取り入れてもらう。 <p>4 議題</p> <p>（1）12月～2月の部会運営の確認（資料参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回の開催日は、2月28日（水）→2月22日（木）に変更。 <p>（2）公開勉強会の役割分担について</p>			

	<p>司会・・・山根委員 挨拶・・・青山部会長 閉会・・・白石先生 マイク回し・・・相原委員、栗田委員 記録作成・・・鶴田委員 写真撮影・・・事務局 ※当日は9時半に直接サポートセンターに集合。</p> <p>(3) 事例検討(資料参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者の事例について4グループに分かれて検討。 <ul style="list-style-type: none"> 「既に抽出されてきた課題」「新たな課題」 「すぐに解決できること」「時間を要すること」の時間軸と課題を検討。 <p>Aグループ 施設の話ではなく、在宅に戻す。入所させる必要はない。これからどうしたらよいかを考えてあげる。家族や周囲の支援者の価値観をかえる。 小規模多機能を使う。病院とつながりをもつ。</p> <p>Bグループ 高齢の施設は難しい。アミークスの見学について、確認が必要。単身生活が可能か。介護保険が無理であれば、区の中のシステムを変えることも必要か。</p> <p>Cグループ 施設にとらわれることなく、本人の思いを再確認。生活の拠点から区内巡り。支援者と一緒に考える。地域に、こういう方がいるという発信。お節介をしてくれる人がいると。</p> <p>Dグループ 介護サービスと障害サービスとの壁。本人の希望はどこに、重きを置いているのか。大田区で生活を送る体験・ミニ体験をする。</p> <p>→次回、まとめを行う。</p> <p>次回日程 公開勉強会：11月29日(水) 10時～12時 作業部会：12月8日(金) 10時～12時 部会：12月20日(水) 10時～12時</p>
--	---